
君と出会って恋をした

natsu

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

君と出会って恋をした

【コード】

N9194Z

【作者名】

natsu

【あらすじ】

夏希の初恋は本物の恋？

好きな人

私にはずっと片思いしている人がいる。

2つ年上の勇人

産まれたときから
隣の家に住んでる。

つまり幼馴染み

まあ、むこうは私の気持ちなんて

一切気づいていないだろうけど。

私はそれでもいいと思ってる

いつか伝えられれば
それでいいんだ。

勇人は今、家を出て
寮に入っているから
なかなか会えないのが寂しいけど

「夏希おはよー」

今日から中学2年生。

いつもと変わらず
るいとかりんと通ってる。

「雄太くんと何カ月だっけ？」

「明日で半年」

私には雄太という彼氏がいる。

同じ学校の先輩

優しくて頼りになる

勇人を忘れることは出来ないけど
雄太のことが好き。

「凄いね、かりんも頑張る！」

「クラス同じだといいいね」

「うん」

放課後

「夏希」

雄太と帰るやくそくをしてたから
教室まで来てくれた

「クラスどうだった？」

「楽しそうだよ！雄太は？」

「俺もまあまあ」

そんな会話をしながら
フラフラして家に帰った。

春 Ren

俺は今年から高校に入学した。

はっきり言って

高校生活に期待なんてしてない

テキストに過ごして

そのうち卒業すればいい。

「廉、っはよ!」

「おはよー」

海斗と一成と将史

いつもつるんでる奴ら

「廉、呼ばれてるよー」

言われた方を見ると

女が立ってた

微妙な顔だし

たいして性格もよさそうじゃねー

「よかつたら、付き合ってください」

まあ、別に付き合ってたって
本気になんねーだろうし

「いいよ」

その女、麻美は喜んでた

「ホントにこれからよろしくね」

付き合ってから麻美は
ホントにめんどくせー

やっぱり俺は
本気で好きになれねー

毎日メールで

「今日は何した？」だの
「何喋ってたの？」だの

ホントにうぜー

女なんてそんなもんだ。
俺は本気で好きになつたり
本気で惚れることなんてないんだ。

無愛想

家に帰ると玄関に
何足か靴があった。

多分兄、海斗の友達が来てるんだろう。

「ただいまー」

「おかえりー。」

上行くならついでにお茶
海斗に持ってって」

「わかったー」

階段を上がり兄の部屋に入ると
そこには兄と友達が二人いた。

「おー、さんきゅー」

「えっ、海斗の妹？
めっちゃ可愛いじゃん」

「そんなことないですよ。
じゃあごゆっくり」

「妹ちゃんもここにいなよ」

馴れ馴れしいな

でも、どうせ暇だしいつか。

「じゃあちよつとだけ」

「ノリ良いね」

俺、一成よろしくね」

「廉です」

「夏希です

海斗がいつもお世話になってます。」

一成くんは見た目はチャライけど

なんだかんだ格好よくて

凄い話しやすい。

廉くんは凄いイケメンだけど

愛想悪いし、冷めてるし

自意識過剰そうだな。

別に付き合うわけでもないし

どうでもいいけど。

初対面 Ren

今日は放課後

一成と海斗の家に来た。

麻美にも誘われてたけど

正直一緒にいても

楽しくないから断った

「廉、岡本さんどうすんの？」

「好きなの？」

「多分好きじゃない」

「別れねーの？」

「そろそろかな」

「うわー、可哀想」

ホントに麻美は可哀想だ、
俺みたいな奴を好きになって。

「海斗は？その後どうなの菅原さん」

「亜利紗と？普通じゃん？」

「俺も彼女ほしー」

「一成もすぐできんだろ」

「なあ、海斗

本気で菅原が好きか？」

「なんだよ急に」

「俺、本気で人を好きになれんのかな？」

「廉どーしたんだよ」

海斗が羨ましい。

本気で彼女と向き合ってて
スゲー幸せそうだ。

「いや、俺は到底本気とか無理っぽいわ
麻美ともどーすっかな」

「もうちょっと頑張れよ」

「おめーは、さっさと彼女作れよ」

「うっせーよ」

コンコンと音がすると
部屋のドアが開いた。

そこには多分海斗の妹なんだろうけど

めちやくちや可愛い子が立ってた。

正直顔はタイプだけど、

軽そうで自意識過剰そうだ。

俺は人のこと軽そうとか言えねーか。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9194z/>

君と出会って恋をした

2012年1月4日01時49分発行